

# 次期の見通し

## ■企業のIT投資は引き続き底堅く推移すると予想

今後、国内では復興需要の他、新政権の経済対策、円相場の是正、株高、海外経済の持ち直しによる輸出の回復が見込まれ、国内景気は回復に向かっていくことが予想されます。しかし、世界経済の停滞や国内政策対応の遅れなどにより国内景気が下押しされるリスクが存在し、依然として国内経済の先行きは不透明な状況にあります。

このような経済環境のもとで、国内企業はシステムの更新、IPv6対応などによる買い換え、タブレット等のモバイル端末の活用、節電対応と省電力機器の導入、データセンター利用などによるコスト削減や生産性向上が必要とされています。そのため、企業のIT投資は慎重さを伴いながらも引き続き底堅く推移するものと予想されます。

## ■お客様との接点を強化

このような経済状況や企業のIT投資動向に対する見通しを前提として、当社グループは地域密着型運営体制のさらなる強化のもと、お客様との接点を強化してワンストップソリューション、ワンストップサポートに磨きをかけ、コスト削減や生産性向上などお客様の競争力強化につながるシステム提案を積極的に行い、当社グループの持つ総合力を今まで以上に発揮していきます。またパック商材や魅力ある「たよれーる」保守サービスメニューの開発などストックビジネスを強化し、お客様と安定的かつ長期的な取引関係を構築し収益基盤の充実に図ります。

### 2013年の方針と施策

#### 〈スローガン〉

「お客様の目線で信頼に応え、ITでオフィスを元気にする」

- ワンストップソリューション、ワンストップサポートに磨きをかけ、お客様接点を強化
- ITニーズ、省エネニーズを顕在化させる
- 顧客深耕と新規開拓を並行して進める
- 総合提案・複合提案の推進
- ストックビジネス強化

## ■セグメント別の施策

システムインテグレーション事業では、企業のIT投資動向やIT活用ニーズを見極めながら、複写機、コンピュータ、FAX、電話機、回線などを組み合わせた複合システム提案や総合提案をさらに推進します。

サービス&サポート事業では、オフィスサプライ通信販売事業「たのめーる」において、商材の拡充、プライベートブランド商品「TANOSEE」の充実などを図ります。また、サポート事業「たよれーる」において、システムインテグレーション事業での成果を保守等のサービス契約増につなげ、併せてハードウェアに依存しない新しいサービスを増やします。

## ■次期の業績見通し

次期の連結業績見通しといたしましては、売上高5,360億円(前年同期比3.9%増)、営業利益305億円(前年同期比8.0%増)、経常利益310億円(前年同期比6.6%増)、当期純利益180億90百万円(前年同期比11.1%増)を計画しております。

セグメント別の売上高では、システムインテグレーション事業が3,009億60百万円(前年同期比3.8%増)、サービス&サポート事業が2,344億円(前年同期比4.0%増)、その他の事業が6億40百万円(前年同期比1.2%増)を計画しております。

## 売上高・利益計画

(単位:百万円)

	2012年 12月期	2013年12月期 (計画)	
	金額	金額	増減率
売上高	515,771	<b>536,000</b>	<b>+3.9%</b>
営業利益	28,251	<b>30,500</b>	<b>+8.0%</b>
経常利益	29,079	<b>31,000</b>	<b>+6.6%</b>
当期純利益	16,277	<b>18,090</b>	<b>+11.1%</b>

## セグメント別売上高計画

(単位:百万円)

	2012年 12月期	2013年12月期 (計画)	
	金額	金額	増減率
システムインテグレーション事業	289,840	<b>300,960</b>	<b>+3.8%</b>
サービス&サポート事業	225,298	<b>234,400</b>	<b>+4.0%</b>
その他の事業	632	<b>640</b>	<b>+1.2%</b>